

2016（平成28）年2月27日

保護者の皆様へ

関西大倉中学校
校長 尾崎 正敏

学校評価アンケート結果のお知らせ

向春の候、保護者の皆様におかれましては、益々、ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校教育にご理解並びにご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、1月に行ないました学校評価アンケートにつきまして、集約を致しましたので、報告申し上げます。またご多忙にもかかわらずご回答いただきありがとうございました。今回のアンケートは、質問項目につきましては、昨年同様35項目、4段階（よく当てはまる・ほぼ当てはまる・あまり当てはまらない・全く当てはまらない）として250名の皆様より評価していただきました。回収率は昨年より約3%低下しましたが、次年度に向けて回収方法にも工夫を加えたいと考えております。下記に、今後の課題として、主立ったものを記させていただきます。また、結果につきましては、授業アンケートと併せてHP上に公表させていただきます。

I 過年度比較から

- 5) 「行事や教育活動の取組みの保護者への伝達」(6.1%増)

学校HPでの報告なども含めた評価をいただいたと考えられます。

- 19) 「生徒が意欲的に取り組む教育課程の工夫」(2.6%増)

教科を横断する題材を扱う「アクティブ・ラーニング」を取り入れた授業の取組みに評価をいただいたと考えられます。

- 24) 「授業を参観しやすく、懇談する機会」(4.4%増)

授業参観・クラス懇談のほか、担任を中心とした懇談に評価をいただいたと考えられます。

- 15) 「生徒をよく理解していて、生活指導面において適切な指導」(4.4%減)

年2回実施しているQUテスト(5.11月など)を活用し、より懇談を充実させ、細かな生活指導を心掛ける必要があると考えられます。

- 29) 「災害時の対応について、生徒や保護者に行動マニュアルの伝達」(5.9%減)

12月中旬に阪神地区で発令された暴風警報に対する連絡が不十分で、ご迷惑をおかけした結果が反映されたと考えられます。暴風警報発令時の対応については、反省を踏まえ、次年度からは2段階の判断を6時30分に一元化する予定です。

30) 「事故防止に配慮、施設設備の点検・修理」(15.8%減)

年末に発生した火災事故に対する注意喚起を求める数字と考えられます。次年度は、防火管理上の点検・修理の徹底を図り、避難訓練を春・秋の2回実施する予定です。

II 課題

3) 「他の学校にない特色ある教育活動の展開」(全体マイナス評価24.5%)

職業体験(今年度、数力所増加)など将来を見据えたキャリア教育、地域清掃活動(年3回)などに入力していますが、さらなる特色の明確化が必要と考えます。また、校内の森林・竹林の整備も着実に進行しており、現在、「かんくら山を育てる会(仮称)」設立に向けて、保護者の方にもご参加いただき準備を進めています。

6) 「進路にかかわる連絡や情報のきめ細かな提供」(全体マイナス評価24.1%)

現在の中一生の受験時から大きく変革される入試制度について、具体的な内容の公表に合わせて説明会を開催する予定です。同時に学内においても様々な学力の評価基準についても検討しているところです。

27) 「生徒会や委員会活動の活発化」(全体マイナス評価31.5%)

新入生に対する文化祭、運動部紹介など年々充実を図っていますが、保健委員会などの定期的開催を含め「見える」化を推進します。

33) 「生徒と保護者と地域の人たちが交流する機会」(全体マイナス評価32.4%)

東村農業協同組合の方々のご協力により、農業体験として代掻きから収穫までの稲作の体験を行っています。今年度は、子供たちとの関わり方として「アンガ・マネージメント」の講演会を開催しましたが、保護者の方々もご参加いただけるものをさらに検討していきたいと思えます。

地域の方々にも評価いただいている清掃活動、文化部(吹奏楽・和太鼓・クラシックギター・ダンス)による公演、各種行事への参加を積極的に行っていますが、ほかのクラブを含めて拡充を図りたいと思えます。

最後に、単に上記にあげた項目だけにとどまらず、今後の教育活動改善のために、保護者の皆様のご助言等も取り入れるとともに、更なる飛躍を目指していく所存です。今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。